

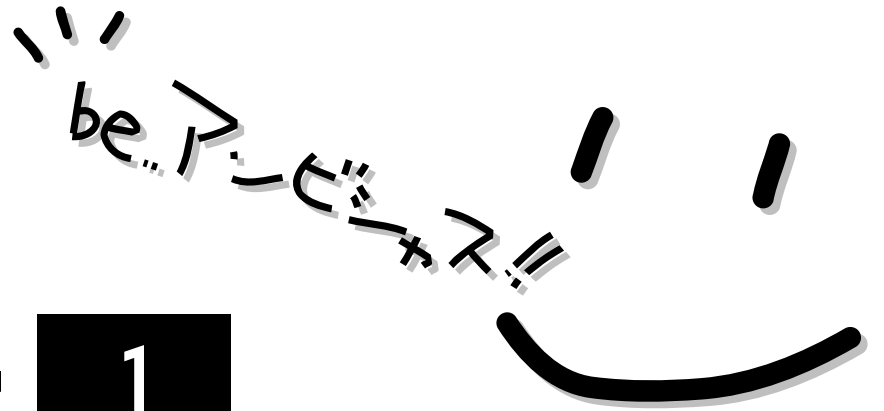
あいかわ

アンビシャス広場かわらばん

Ambitious News

1
JAN. 2003

編集・発行 あいかわアンビシャス広場委員会 〒839-0861久留米市合川町471-1 TEL.0942-43-3815
E-Mail aikawa@seagulls.co.jp URL http://seagulls.co.jp/aikawa/ FAX.0942-43-9183



プールで魚釣り

(10月16、22～24日、29～31日)

初日になんと60名以上も参加したプールでの魚釣り！6年生が下級生のお世話をしてくれていたの



で助かりましたが、何といっても子供達には大人気のイベント。多いときには100名近くの子供達が集まる事態となり、その後、曜日によってある程度学年で分けるようにしました。



地域の方にたくさんの魚をプールに入れていただき、大変感謝しています。中にはかなり大型の鯉なども入っているようです。来年また何度か出来そうです。



芋掘り (10月16日)



6月にたくさんの子供達が力を合わせて植えた芋が収穫の時期を迎えました。夏の暑い日、2回ほど草取りも行い、いよいよ採り入れです。朝からみんなで一生懸命掘った芋は、トラック数台分にも及

ぶ大収穫になりました。採れた芋は、その場でふかして食べました。

・・・おいし～い(*^_^*)
その他、ふれ愛文化祭他色々なところで活用することが出来ました。



大型立体ブラックシアター
「ほね・ほね・ほね」他
大型紙芝居、クイズ、手遊び

絵本大好き会 (11月30日)

絵本大好き会の企画で行った大型立体ブラックシアター他の一連の催しは、粕屋町のボランティアグループおはなし会「かばーる・ほ!」によって行われた。立ち上げから12年、「子供達に、ほ!とできる時間を」との思いを込めて名付けられたということで、県内各所で活動されている。

雨で少し冷え込んでいたにも関わらず、100名近くの子供達、お父さん、お母さんの参加もあり、約1時間でしたがあっと言う間に過ぎてしまいました。

絵本のクイズや手遊びを子供達は歓声をあげながら楽しんでいました。

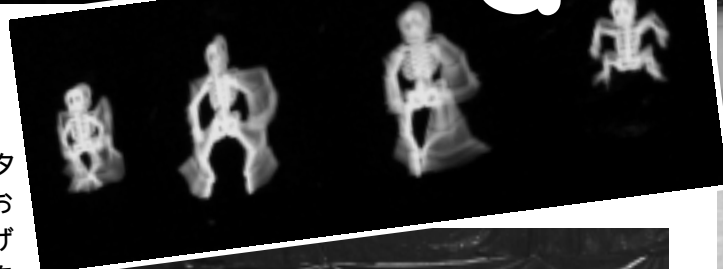
それから何と云っても、最後の大型ブラックシアター「ほね・ほね・ほね」は圧巻でした。真っ暗な体育館に骸骨が浮かび上がって踊りだしたり、巨大な恐竜がパズルのように組み合わされたり、子供達の目は釘付けでした。

この「ほね・ほね・ほね」も絵本の「ほね」から出来上がったものだそうです。十分に絵本の世界を楽しんでもらえたかなあとと思っています。



また子供達の喜ぶ企画を準備したいと思います。楽しみに待っててください。

絵本大好き会
代表 水城久美



仲原小学校おはなし会 「かばーる・ほ!」

多くの子供達に楽しい絵本の世界を知って欲しいと平成2年4月結成。粕屋町内はもちろん、県内各所で数多く上演を行っているボランティアグループ。

平成14年3月現在、依頼による上演回数だけでも実に239回という熱心な活動を行っている。(代表/鳥谷真利さん)
連絡先/粕屋郡仲原町2082-6 TEL.092-939-0836(草場)



むしゃくしゃして 物を壊したことがある。

…25.2%(5年生)

生きているのがいやになる。

…40%(6年生)

自分はダメな人間だと思う。

…48.4%(6年生)

※福岡県VTR資料より

数字だけ見るとショッキングな内容です。合川が対象の数字ではありませんが、まぎれもなく今の子供達の声なのです。

この数字を見ると10人に4人は生きているのがいやになっているらしい。はて？ウチの子は大丈夫だろうかと思わず我が子を見直してみたくになります。ウチの子は自分で自分のことをダメな人間だと思っているのだろうか？

しかし自分自身を振り返ってみると、案外誰でも一度や二度はこんな風に思ったことはあるかも知れないと思う。「叱られてシュンとしとるときには、誰でん、思うくさい」「中学や高校になれば、まーだでん、思うかもしれん」

ならばなぜ今、不登校など子どもをとりまくその他たくさん問題が急増しているんだろう。

確かに昔は話題にもならなかったことが、今はマスコミが異様に取り上げすぎて、問題を過度に浮き彫りにしているのかも知れない。昔からこんなことは何処かでは起こっていたのかも知れない。しかし、様々な子どもの社会問題が増えていることは事実。

新聞を見ると、今の子供達は学習意欲がかなり落ちていとも書かれている。しかしな～、オレも子どもの頃は勉強、好かんやっただけな～。宿題やらいっちゃん好かんやった。

では、何が今の子供達と違うんだろう。

振り返って思い当たるのは、遊ぶところの無さ、かな？昔は家に帰るや否や(あるいは学校の帰りに)、ランドセルやカバンを放り投げて脱兎の如く遊びに行っていた。時間がたつのも忘れて夢中になって遊んだ。そんな場所、そんな時間が少ないのかも知れない。確かにゲームやテレビは充実しているけど、それは一人でやる遊び。友達、ましてや年上や年下の子と一緒に遊ぶことが少なくなったのかな？

子どもにしっかりと生きていく力を付けることが親のつとめというけど、その力は何処で付くんだろう。どうしたら付けてやれるだろう。

中学・高校になって不登校になる子どものうちには、いじめなど具体的な理由が思いあたらないケースも数多くあると聞いています。それまでは、ずっと「良い子」だった子どもが、ちょっとしたきっかけである日突然学校に行けなくなる。親にも先生にも理由がわからない。その時初めて、親は一体何が足りなかったんだろうと考える。

体験こそが子どもの力になり、本当に身に付くものだという事は間違いないでしょう。大人たちに守られて、子どもが好きなように、自由に過ごせる時間と場所。友達と切磋琢磨し、地域のおっちゃんやおばちゃんに怒られたり、褒められたり、泣いたり笑ったり出来る場所、そんなところが一番必要なのかも知れません。

たぶん、これをこうすればいいという誰にもあてはまる公式はないのでしょう。ひとりひとりみんな違う子どもの心をじっくりと見つめ、様々な試行錯誤の中から、ひとつでも子供達の心を拾い上げられたら・・・



10月～その他主なアンビシャス活動

昔遊び (10月19日)



パソコン (毎週土曜日)



12～1月のアンビシャス広場

12月

- 21日 クリスマス会 (10:00～) (公民館ゆうゆう教室)
- 24日 終業式
- 25、26日 フリータイム (9:00～12:00)

1月

- 12日 枝光さぎっちょ (9:00～18:00)
- 14～16日 フリータイム (15:00～16:30)
- 18日 料理教室
- 21～23日 フリータイム (15:00～16:30)
- 25日 パソコン・読書
- 28～30日 フリータイム (15:00～16:30)

フリータイムは囲碁・将棋・折り紙やフライングディスク・グラウンドゴルフなど特に遊びを指定しません。何でも好きなようにやれるよ。

フライングディスク (毎月第1週火・水・木曜日)

フライングディスクはだんだん慣れてきて少しずつ参加者が増えてきています。機会を見て、ドッジビー大会などを企画できそうです。

親子で学校を美しく (11月9日)

5年生 黒田莉彩
私はお母さんと中学校舎のトイレをたんとうすることになりました。私はトイレそうじをするのが久しぶりで、まずなにをしていいのかわかりませんでした。最初は一階の女子トイレに行きました。そこには「トイレ掃除のしかた」の紙がはってあったので、それを見ながらやりました。お母さん達がまずほうきではわき、私はまどをあけました。そしてお母さん達がおぶつをかたづけしているあいだに、ドアとタンクをぞうきんでふきました。昨日そうじ当番の人がしたはずなのに、したとは思えないくらいいたないところがありました。



男子便所はおしっこをするところがとてもきたなくてお母さん達二人でがんばってゴシゴシしていました。お母さん達とこのそうじをやって私は、トイレそうじはどこのそうじよりもずっとやりがいのある仕事だと思いました。また親子清掃に参加したいです。

缶けり (11月12～14日)

ビー玉遊び (11月19～21日)



ミニグラウンドゴルフ (11月26～28日)

アンビシャス広場では、子供と一緒に遊んでいただけるボランティアを募集しています。ぜひ積極的なご参加をお願いします。みなさんの広場に対するご意見もお聞かせください。
TEL.43-3815(教頭)
E-Mail.aikawa@seagulls.co.jp

